

地域支援事業の紹介

南大東村「うふあがりカフェ」

平成27年度に地域の課題（ニーズ調査）を実施しました

（対象者は40歳以上の住民541名、回収数：395名 回収率73.0%）

ニーズ調査から見たことは「島に住み続けたい」93.5%

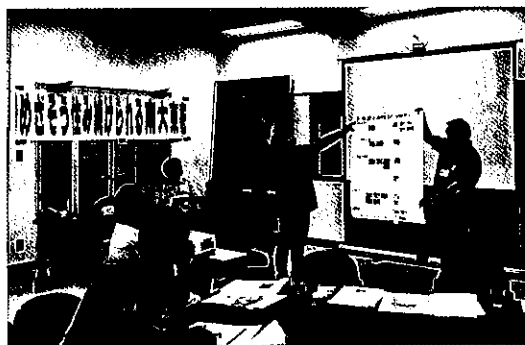
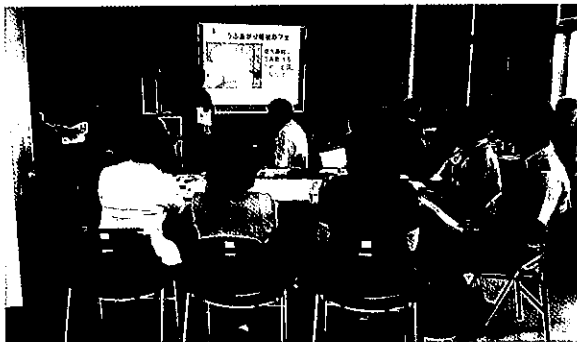
しかし、島には医療や介護の施設がないという課題があります。

上記のニーズ調査の結果、浮かんできた課題をどう解決していくのかということで、住民参加型の「うふあがりカフェ」を開催しました（H28.10.28）。

議題は「めぞそう 住み続けられる南大東を～島にこんな施設があったらいいな～」

警察官、民生委員、議員、区長、社会福祉協議会、実際介護をしている家族、行政などさまざまなメンバーに呼びかけたところ、48人の参加が有り、住民の関心の高さを感じました。

年明け1月には先進地施設見学をし、どんな施設が南大東に適しているかを今後も住民主体で話し合いを続ける予定です。



ゆいまーる共生事業（読谷村）

平成元年に喜名福寿会によって始められた活動で、現在では24自治会のうち23の団体が月2回、約2時間程度で開催されています。

各公民館を拠点に健康体操、レクリエーション、手工芸、カラオケ等を行い、ボランティアの手作りおやつを楽しむなど、ふれあいサロン事業を行い、地域のボランティアに支えられた自主活動として実施され、地域コミュニティーによる支え合いで高齢者の健康づくりや生きがいづくりの場となっています。

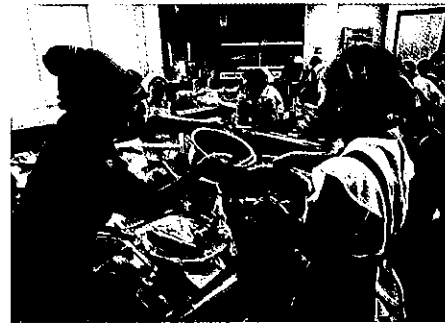
その他にも誕生会、子供会（幼稚園）との交流会、視察研修等も行っており、レクリエーションや体操、ゲーム、アテ振り（リトミック）、地域の民話の読み聞かせ、保健師による健康講話なども行っています。



レク講習



リトミックの様子



調理講習